

静紋認証タイムレコーダ 操作説明書

(Ver 1.0.3.1)

[1. はじめに](#)

[2. タイムレコーダ機能](#)

[3. 静紋システム管理](#)

[4. 動作環境の設定](#)

[5. 勤怠データの転送 / 削除](#)



株式会社システックス

1. はじめに

この度は、当社「静紋認証タイムレコーダ」をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本書は、製品の操作方法を記述したものです。

ご使用になる前にお読みください。

2. タイムレコーダ機能

メニューより静紋認証タイムレコーダを選びます。

以下の画面が表示されます。この画面がタイムレコーダの基本画面となります。



[キー操作]

F1～F12キー：ファンクションボタンの切り替え

カーソルキー：ファンクションボタンの切り替え

英数字キー：ID入力(英数字キーを押すとID入力状態になります。)

Homeキー：IDのクリア

Enterキー：パスワード入力(ID入力時のみ)

ESCキー：タイムレコーダの終了

Alt + スペースキー：システムメニュー表示

タイムレコーダのメッセージ窓に「認証装置に指をセットしてください」のメッセージが表示している時、認証装置に指をセットすることにより、時刻データを取得し蓄積します。

IDを入力することにより、より高速な認証が可能です。

静紋を認識されない場合や、静紋が登録できなかった人は、ユーザ登録時に設定したパスワードを入力することで、静紋と同様に本人認証しデータを蓄積します。

システムメニューより、動作環境の設定、勤怠ログの転送 / 削除処理を行えます。



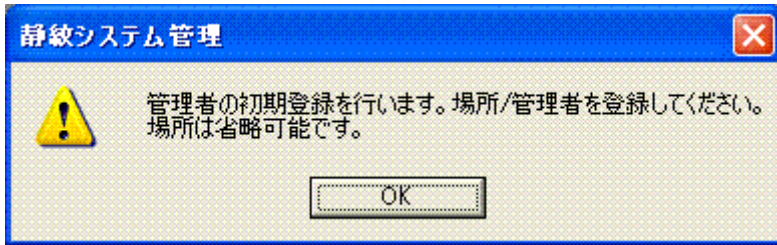
3. 静紋システム管理

静紋システム管理の操作方法について説明します。

(1) 起動時の操作

(1 - 1) 初回起動時の操作

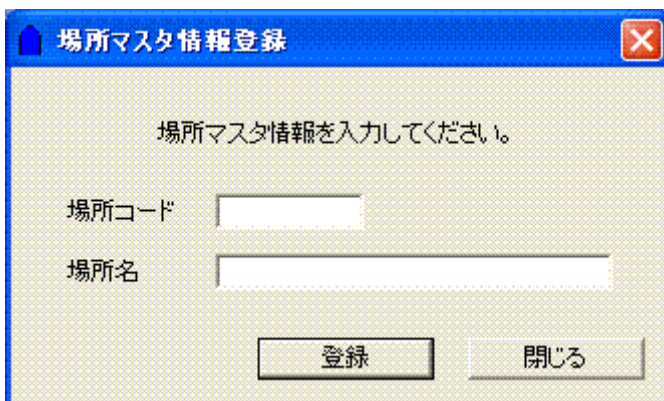
次の画面が表示されます。



「OK」ボタンを押すと、場所マスター一覧画面が表示されます。

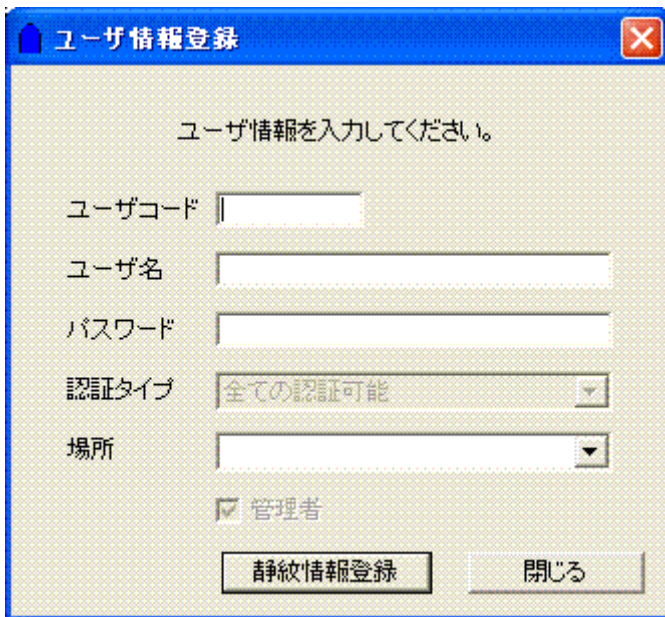


「登録」ボタンを押すと、場所マスタ登録画面が表示されますので、場所の登録を行ってください。



「閉じる」ボタンを押すと、ユーザ情報登録画面が表示されますので、ユーザの登録を行ってください。

初回起動時のユーザ登録で、必ず管理権限のあるユーザと静紋を登録してください。



ユーザー情報登録

ユーザ情報を入力してください。

ユーザコード

ユーザ名

パスワード

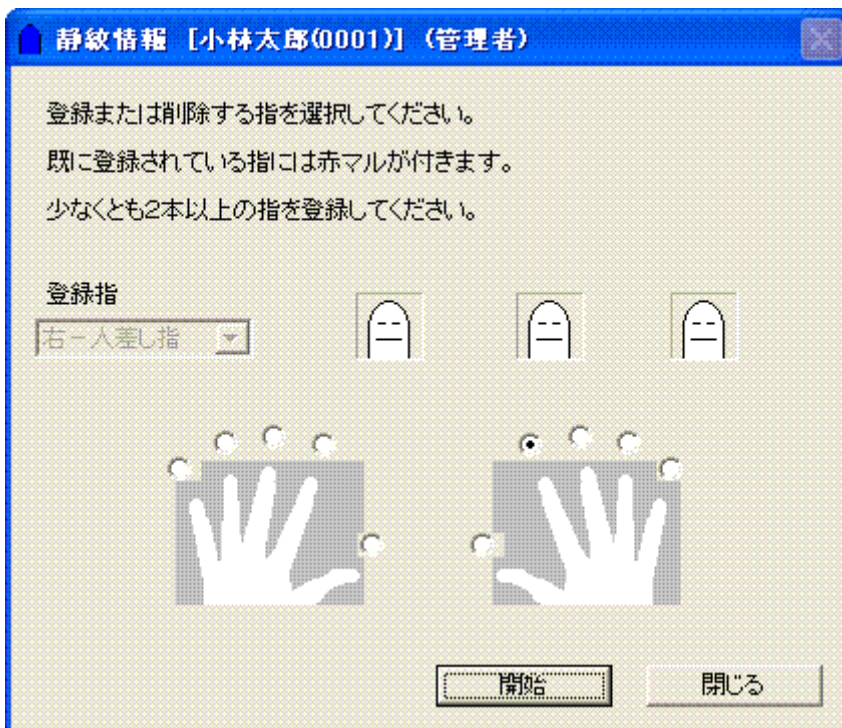
認証タイプ

場所

管理者

静紋情報登録 閉じる

「静紋情報登録」ボタンを押すと、静紋情報画面が表示されますので、静紋の登録を行ってください。



静紋情報 [小林太郎(0001)] (管理者)

登録または削除する指を選択してください。
既に登録されている指には赤マルが付きます。
少なくとも2本以上の指を登録してください。

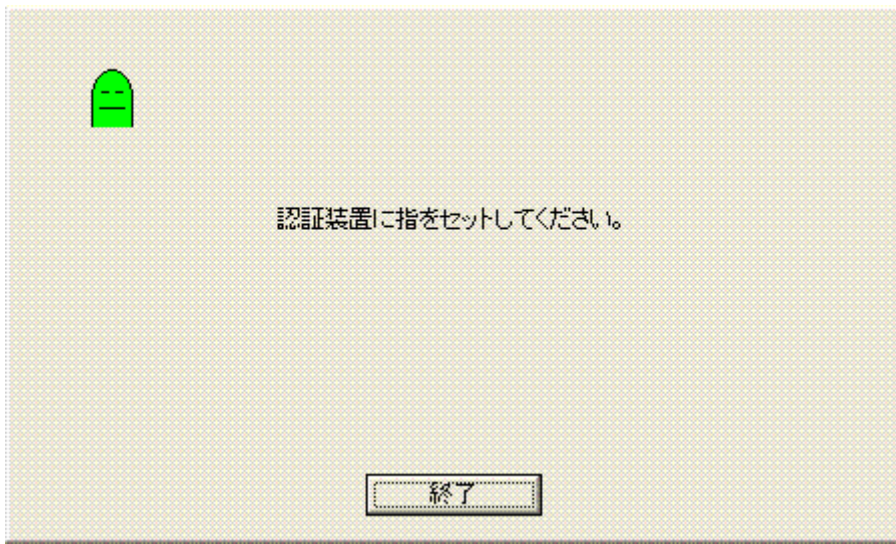
登録指
右-人差し指

開始 閉じる

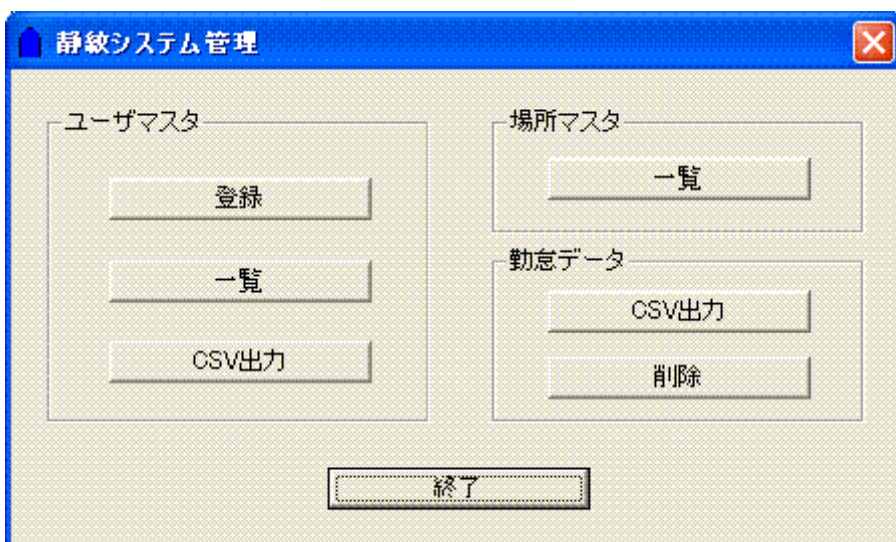
初回以外は、管理権限のあるユーザ以外は本処理を行えません。

(1 - 2) 初回起動時以外の起動時の操作

初回起動時以外は次の認証用画面が表示されるので、認証を行ってください。



認証に成功すると次の画面が表示された後、静紋システム管理画面が表示されます。



(2) ユーザマスタグループの操作

(2 - 1) 登録

ユーザマスタグループの「登録」ボタンを押します。

ユーザコード、ユーザ名、パスワード(4文字以上)、認証タイプ、場所を入力してください。

認証タイプは、静紋のみ可能 / パスワードのみ可能 / 全ての認証可能の中から選択できます。

- 1) 静紋のみ可能: 静紋認証でのみ認証可能
- 2) パスワードのみ可能: パスワードでのみ認証可能
- 3) 全ての認証可能: 静紋認証とパスワードの両方で認証可能

場所は、場所マスタに登録されているものから選択できます。

管理者にチェックをつけることにより、管理権限が付与されます。

「静紋情報登録」ボタンを押し、静紋登録に進んでください。

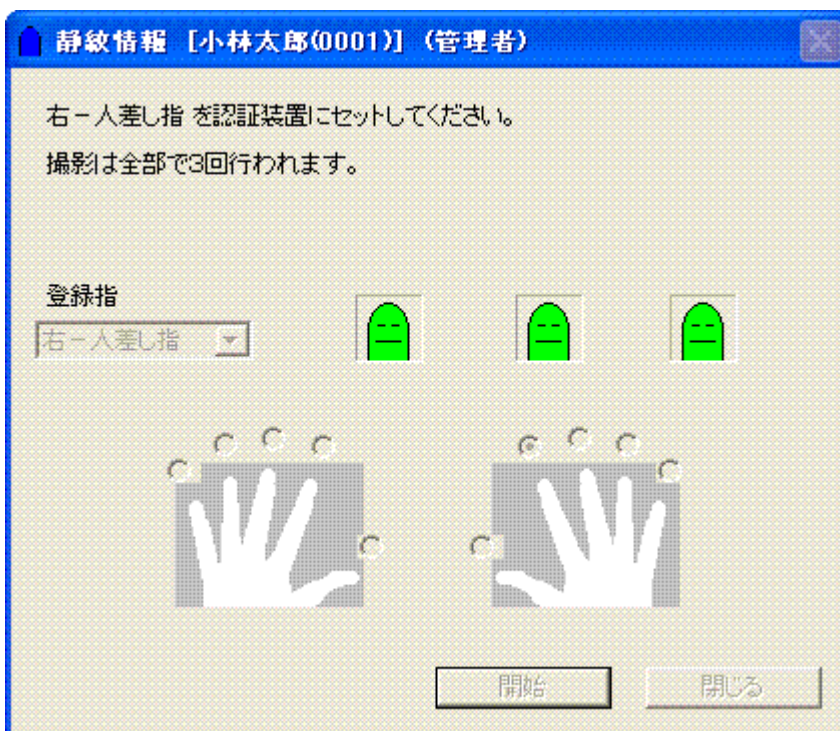
「閉じる」ボタンを押すとユーザ登録はされません。

(2 - 1 - 1) 静紋登録



登録する指を選んで「開始」ボタンを押してください。

静紋を登録せずに「閉じる」ボタンを押すとユーザ情報のみ登録されます。



認証装置に3回、同じ指をセットしてください。3回の静紋データが取得できたら、指の選択画面に自動的に戻ります。

別の指を登録する場合は、操作を繰り返します。登録を終わる場合は「閉じる」ボタンを押します。

怪我などで、静紋が認証できない場合のために左右の指少なくとも1本は登録することをお勧めします。

(2 - 2) 一覧

ユーザマスタグループの「一覧」ボタンを押すことで、登録済のユーザが一覧表示されます。

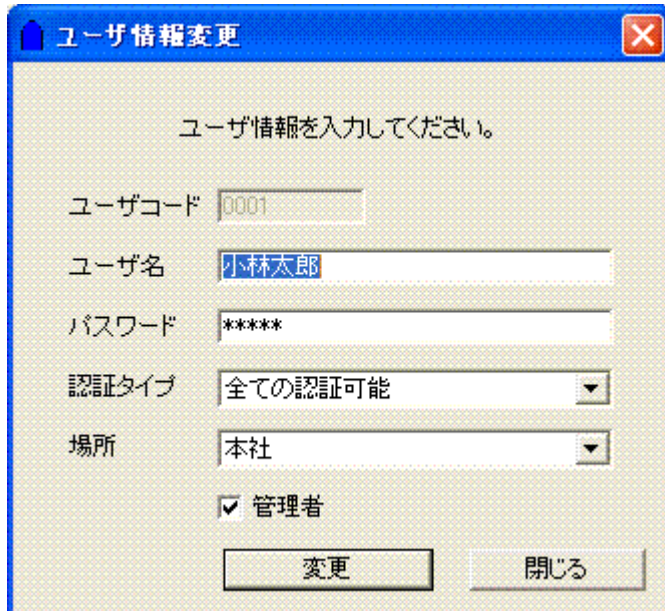


(2 - 2 - 1) 静紋情報

「静紋情報」ボタンを押すと、静紋を追加登録できます。

(2 - 2 - 2) ユーザ情報

ユーザ情報を変更する場合は、変更するユーザを一覧より選んで「ユーザ情報」ボタンを押します。



変更する情報を設定し、「変更」ボタンを押します。

(2 - 2 - 3) ユーザ削除

ユーザを削除する場合は、削除するユーザを一覧より選んで「ユーザ削除」ボタンを押します。



削除して良ければ、「はい」ボタンを押します。

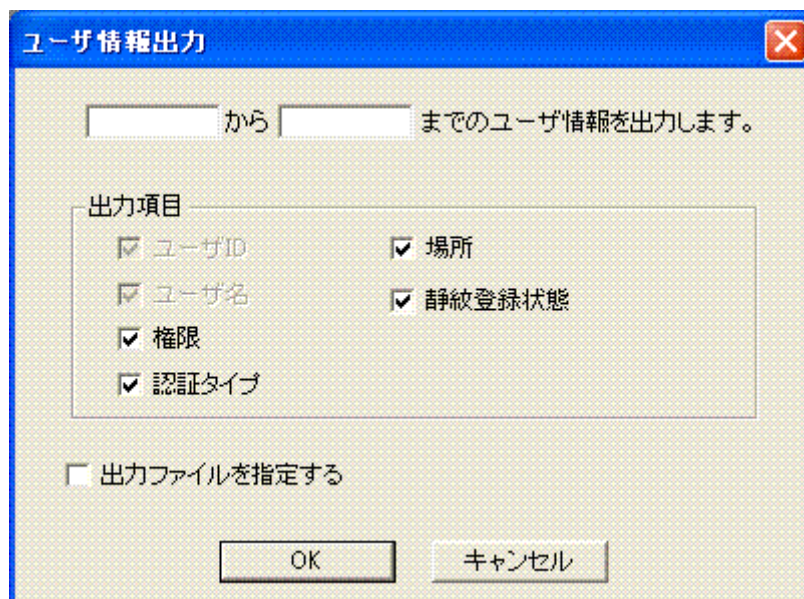
(2 - 2 - 4) 場所コンボボックス

場所コンボボックスの場所を選択することで、その場所に該当するユーザだけを一覧に表示します。



(2 - 3) CSV出力

ユーザマスタグループの「CSV出力」ボタンを押すと、ユーザ情報出力画面が表示されます。



ユーザコードの範囲指定、出力項目の選択を行い、「OK」ボタンを押すとカレントフォルダにUserList.csvが出力さ

れます。

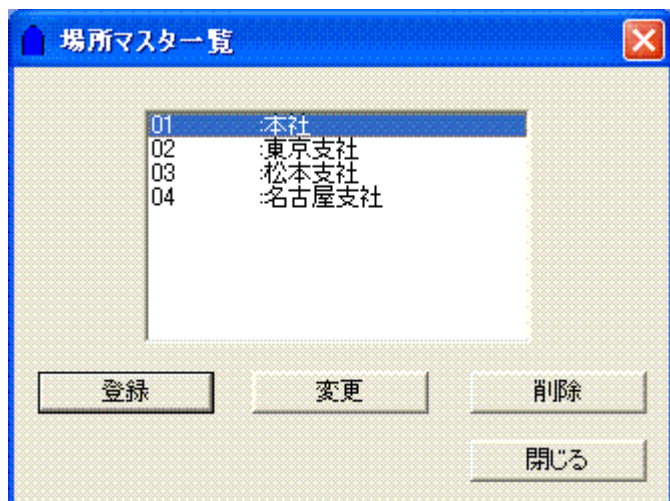
()ユーザコードの範囲は文字列として比較します。

例) 1から9を条件とした場合に出力するユーザ : 「1」、「2」、「11」、「9」、「999」

「出力ファイルを指定する」にチェックをつけておいた場合、「OK」ボタンを押した時に出力ファイルを指定できません。

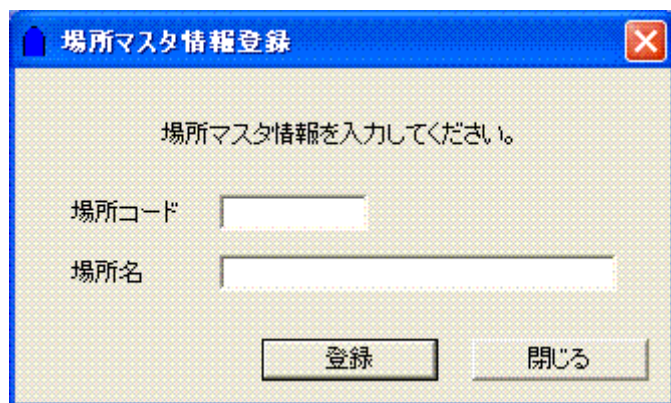
(3)場所マスタグループの操作

場所マスタグループの「登録/変更/削除」ボタンを押すと、場所マスター一覧画面が表示されます。



(3 - 1)登録

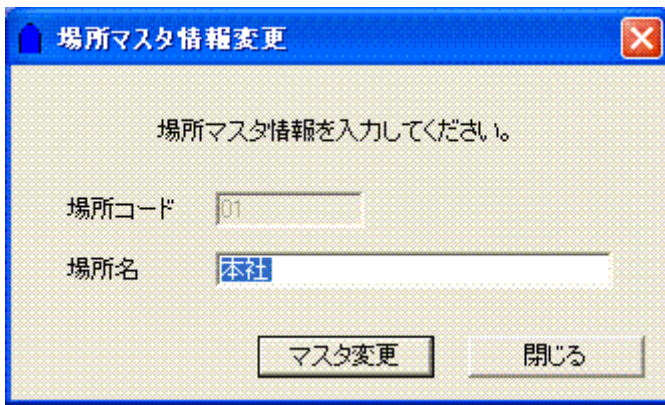
場所情報を新規に登録する場合は、「登録」ボタンを押すと場所マスタ情報登録画面が表示されます。



場所コード、場所名を入力してから「登録」ボタンを押すと登録されます。

(3 - 2)変更

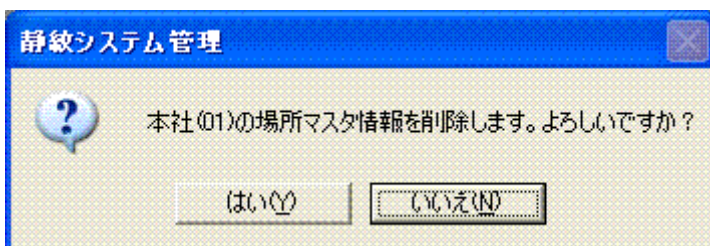
場所情報を変更する場合は、変更する場所を一覧より選んで「変更」ボタンを押します。



変更する情報を設定し、「マスタ変更」ボタンを押すと変更されます。

(3 - 3) 削除

場所情報を削除する場合は、削除する場所を一覧より選んで「削除」ボタンを押します。

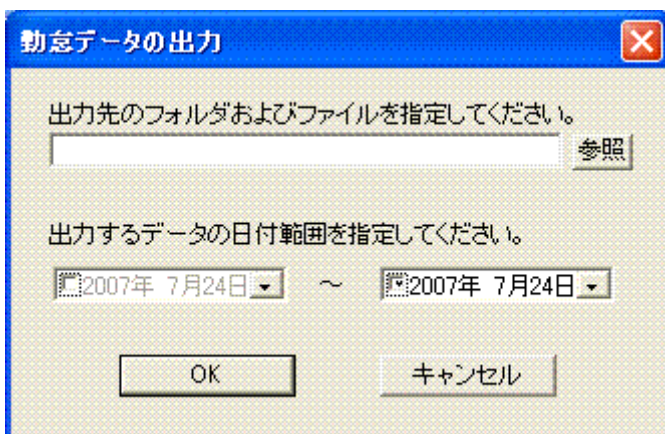


削除して良ければ、「はい」ボタンを押します。

(4) 勤怠データグループの操作

(4 - 1) CSV出力

静紋システム管理画面の勤怠データグループの「CSV出力」ボタンを押すと、勤怠データの出力画面が表示されます。



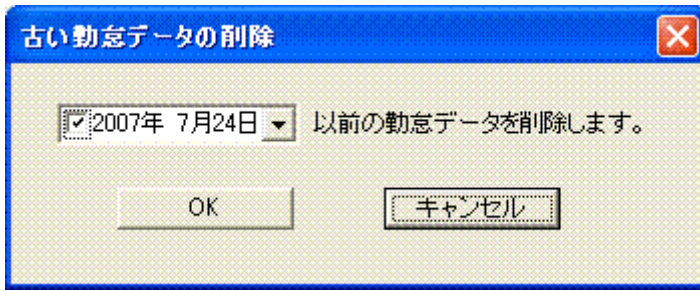
出力先ファイルと出力期間を指定してください。「参照」をマウスでクリックするとカレンダーが表示されます。

「OK」ボタンを押すと出力処理を開始します。

(4 - 2) 古い勤怠データの削除

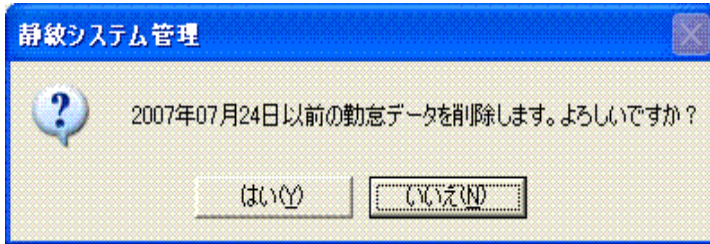
静紋システム管理画面の勤怠データグループの「削除」ボタンを押すと、古い勤怠データの削除画面が表示され

ます。



削除する期間を指定してください。

「OK」ボタンを押すと確認ダイアログが表示されます。



削除して良ければ、「はい」ボタンを押します。

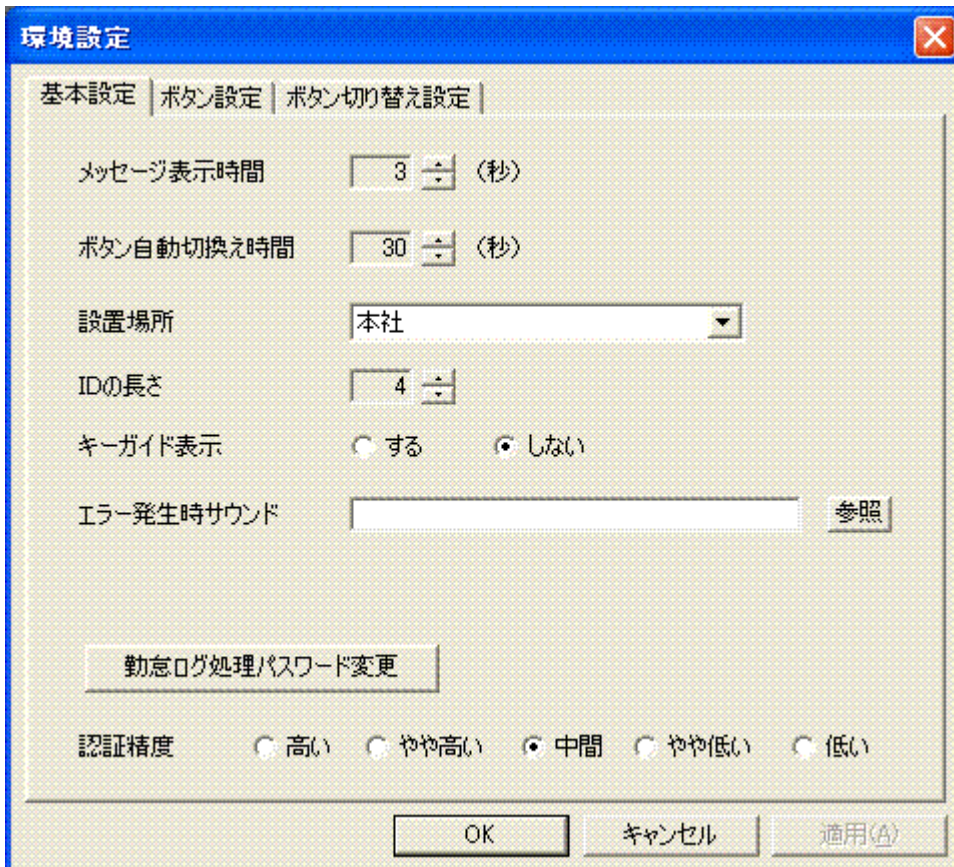
4. 動作環境の設定

システムメニューより、「環境設定」を選ぶことで、各種動作環境を設定できます。



変更した設定内容は静紋認証タイムレコーダを再起動した時に反映されます。

(1) 基本設定



メッセージ表示時間: 各種メッセージを表示するウィンドウの表示秒数を指定します。

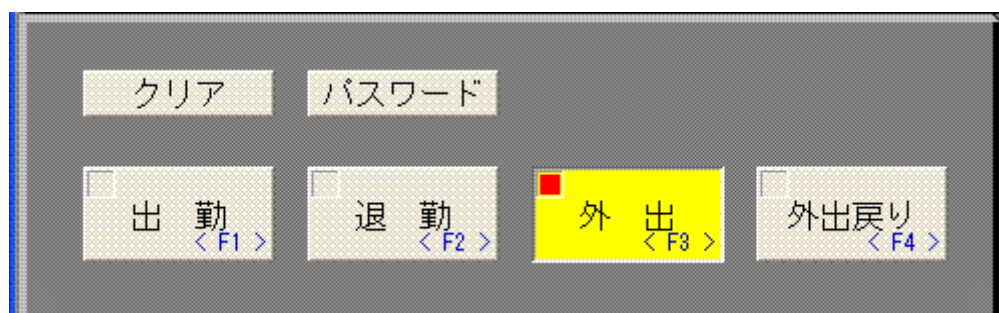
ボタン自動切換え時間: ボタンを切り替え後、規定のボタンに切り替わるまでの秒数を指定します。

設置場所:タイムレコーダの設置場所を指定します。

IDの長さ:ユーザIDの長さを指定します。(1~20)

キーガイド表示:ボタンにキーガイドを表示するかどうかを指定します。

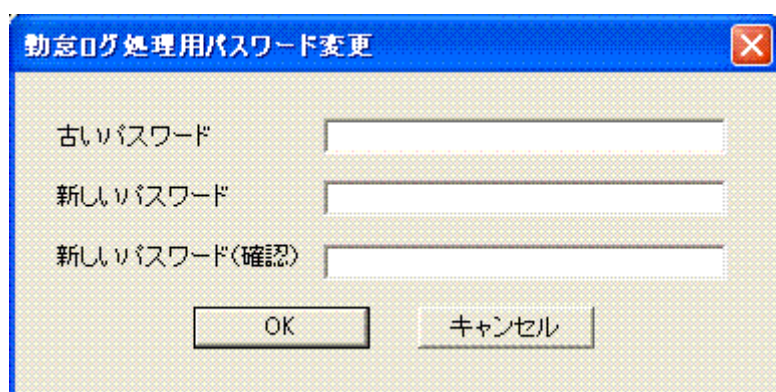
キーガイド表示すると以下のような表示になります。



エラー発生時サウンド:エラー時の音を変更する場合に指定します。

勤怠ログ処理パスワード変更:勤怠ログの転送 / 削除をする時に、権限を認証するパスワードの設定 / 変更をします。

初期状態ではパスワードは未設定です。

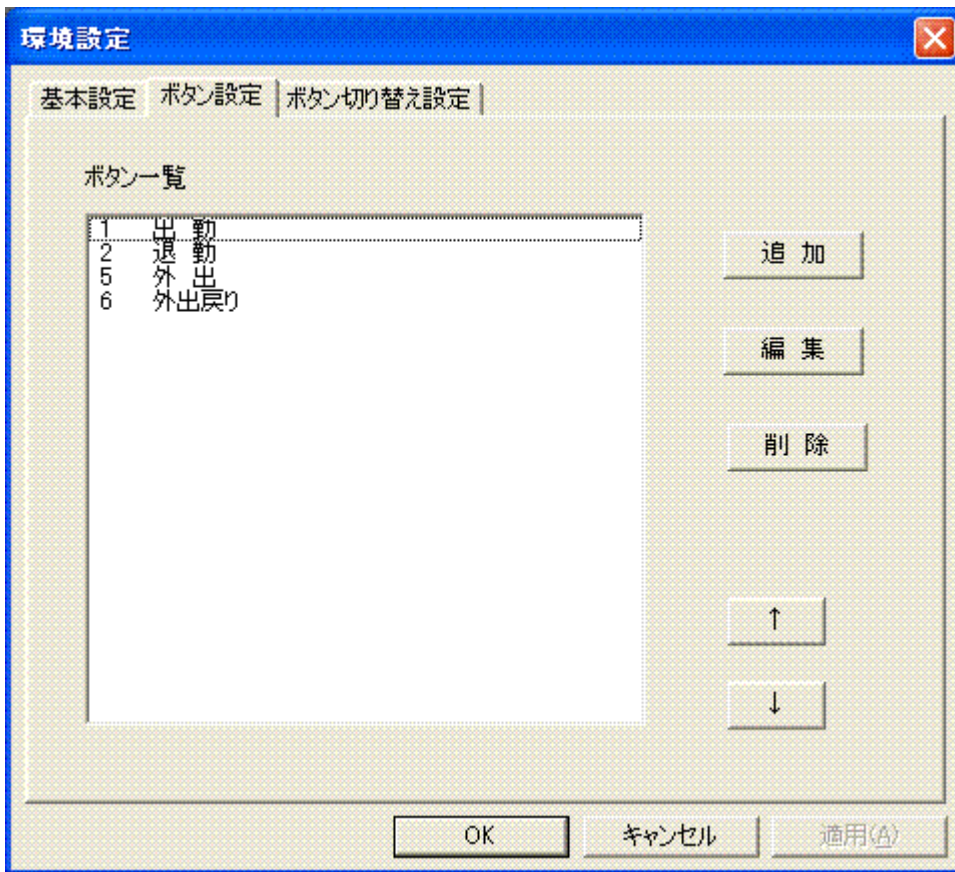


古いパスワード、新しいパスワードを入力します。

古いパスワードが今までのパスワードと一致しなかった場合や、新しいパスワードが確認用のパスワードと一致しなかった場合は変更できません。

認証精度:認証時のセキュリティレベルを設定します。

(2) ボタン設定



追加: ボタンを追加します。

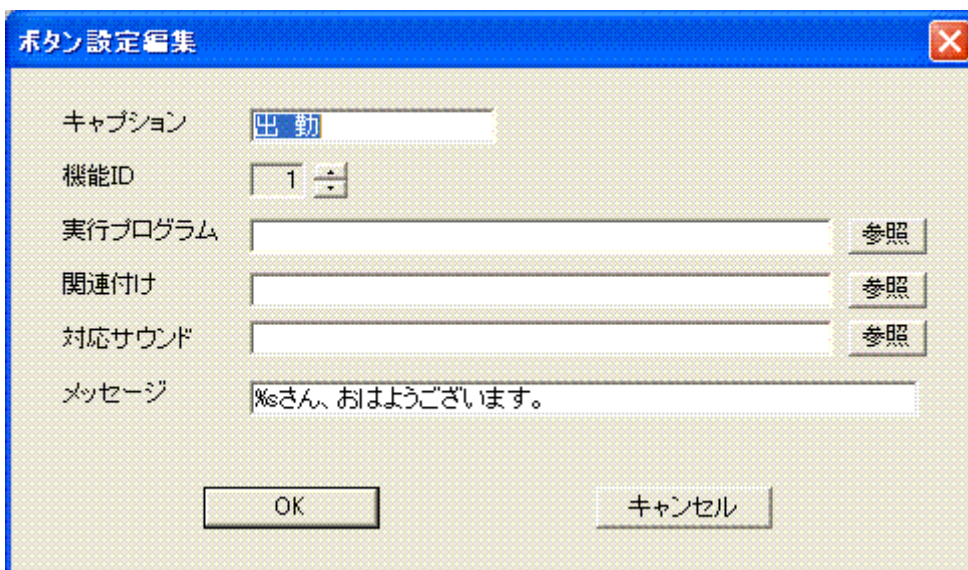
編集: ボタン情報を変更します。

削除: ボタンを削除します。

: ボタンの位置を移動します。

ボタンは一覧の上から、タイムレコーダ画面の左上より右に配置されます。

「追加」 / 「編集」ボタンを押すと以下の、ボタン情報編集ダイアログが表示されます。



キャプション: ボタンの表示文字列を指定します。

機能ID: ボタンの識別IDを指定します。勤怠ログに出力されます。

実行プログラム: 認証した時に実行するプログラムを指定します。

関連付け: 認証した時に処理する関連付けファイルを指定します。

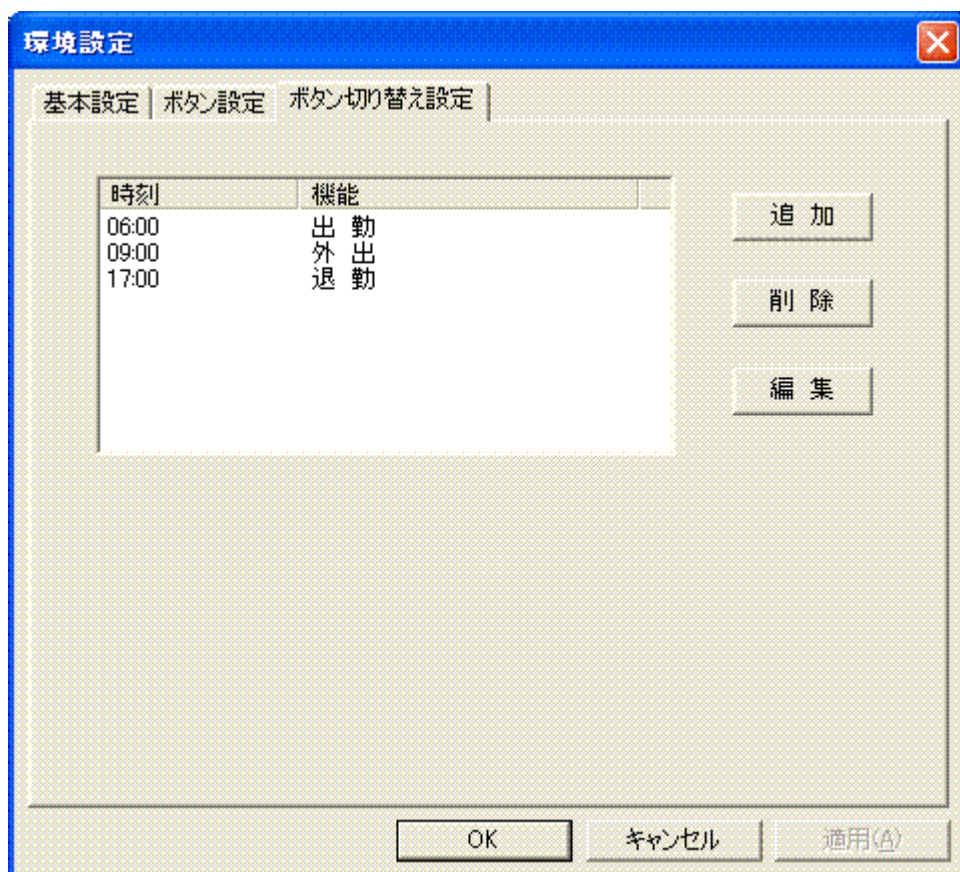
対応サウンド: 認証した時に鳴らすサウンドファイルを指定します。

メッセージ: メッセージウインドウに表示する文字列を指定します。

%sにはユーザ名が入ります。

(3) ボタン切り替え設定

時間によってボタンのデフォルトが自動で切り替わります。その時間とボタンを設定します。

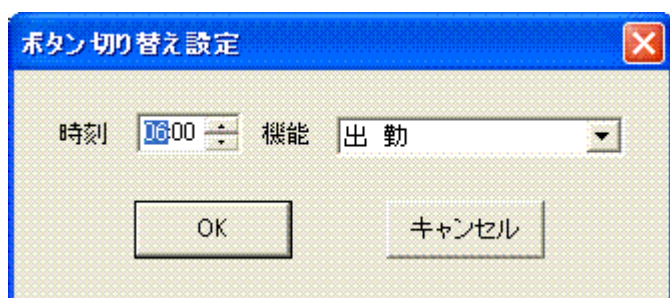


追加: ボタン切り替え情報を追加します。

削除: ボタン切り替え情報を削除します。

編集: ボタン切り替え情報を変更します。

「追加」 / 「編集」ボタンを押すと以下のようなボタン切り替え情報編集ダイアログが表示されます。



時刻:切り替え時刻を指定します。

機能:切り替えるボタンを選びます。

5. 勤怠ログ転送 / 削除

勤怠ログの指定期間の転送(退避)と指定期間以前の勤怠ログの削除機能を提供します。

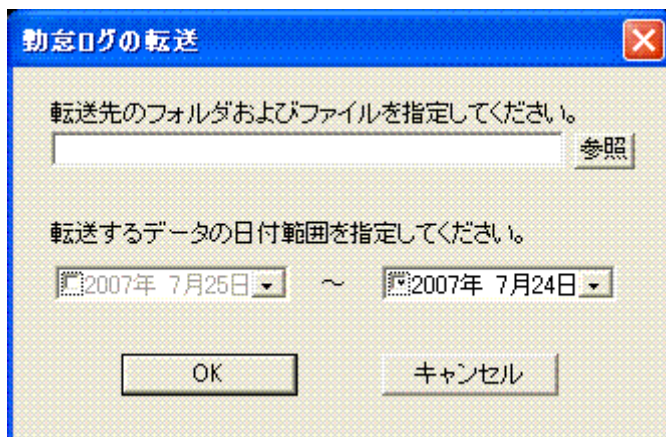


・勤怠ログ転送

システムメニューより「勤怠ログの転送」を選びます。

パスワードの入力ダイアログが表示されますので、環境設定で設定したパスワードを入力します。

パスワードが設定されていなかった場合や入力パスワードが一致しなかった場合は本機能は利用できません。



転送先のファイルを指定し、転送期間を指定してください。「参照」をマウスでクリックするとカレンダーが表示されます。

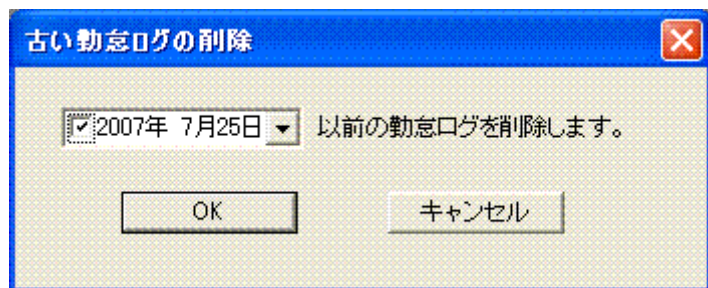
「OK」ボタンを押すと転送処理を開始します。

・古い勤怠ログの削除

システムメニューより「古い勤怠ログの削除」を選びます。

パスワードの入力ダイアログが表示されますので、環境設定で設定したパスワードを入力します。

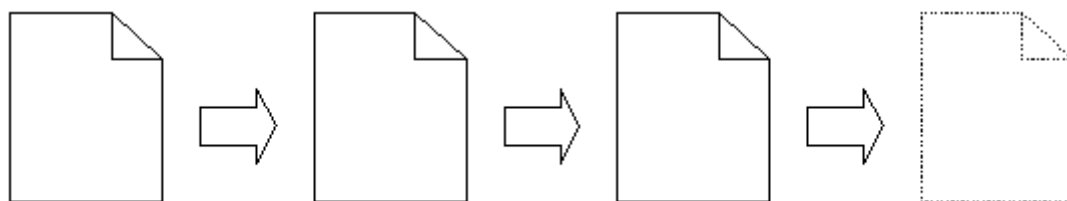
パスワードが設定されていない場合や入力パスワードが一致なかった場合は本機能は利用できません。



削除するログの条件を入力してください。

「OK」ボタンを押すと削除処理を開始します。

削除前の勤怠ログは、バックアップとして過去3回実行分まで保存されます。



(今回の削除前のログ) (2回前の勤怠ログ) (3回前の勤怠ログ) (4回前以降のログは削除)